

共生

奈良県生協連

2012年7月

NO.85

万葉のいぶきを求めて—(50)



あじさいの花

あぢさゐの ^{やへ}八重咲くごとく ^{やよ}弥つ代にを ^{せこ}いませわが背子 ^{しの}見つつ偲はむ
^{たちばなの}橘 ^{もろ}諸 ^え兄

天平勝宝7年（755）5月、左大臣橘諸兄は多治比国人の宅での宴に招かれ、国人から贈られた歌に対してアジサイの花に託したこの歌で答えます。「アジサイの花が幾重にも咲くようにいつまでも元気でいてくださいよ。わたしもアジサイの花を見ながらあなたを偲んでいますよ」一見礼儀的な歌ですが、諸兄の心中は深い思いが込められていました。

天平勝宝元年（749）聖武天皇が譲位し、光明皇太后の権威を背景に、藤原仲麻呂の専横が激化、貴族層内部の対立が深刻化する中で、国人は諸兄の子、橘奈良麻呂の画策する仲麻呂打倒のクーデター計画に関わっていました。宴から1年半余後（755）年1月諸兄はこの世を去り、続いて7月にはこの計画が露見し、国人は伊豆へ配流されました。

アジサイ寺で有名な大和の矢田寺では、諸兄の思いを知っているかの様にアジサイの花が深く頭を垂れ、お地蔵さまの慈悲深い眼差しに見守られて静かに咲いていました。

第23期奈良県生協連通常総会 開催

6月16日猿沢荘（奈良市）において第23期奈良県生活協同組合連合会通常総会を開催しました。ご来賓・関係者・オブザーバーを含め90名が出席し、提案議案はすべて承認されました。



奈良県消費・生活安全課
森藤勝彦課長



日本医療福祉
生活協同組合連合会
高橋泰行会長理事



ご来賓を代表して 奈良県消費・生活安全課長 森藤勝彦様、日本医療福祉生活協同組合連合会会長理事 高橋泰行様よりご挨拶を賜りました。

この他ご来賓として、奈良県消費・生活安全課主任主事高橋弥生様、県消費生活センター所長 中尾昌史様、奈良YMCA 総主事 金子司様、消費者支援機構関西事務局 袋井邦昭様、日本生活協同組合連合会関西地連事務局 小川哲様、にご臨席を賜りました。また、全国の生協連合会及び単協、友誼団体より、多数のメッセージをいただきました。心よりお礼申し上げます。

総会は、ならコープ矢藤加寿子代議員を議長に選出し、定刻通り議事に入りました。2011年度活動報告では、特別報告として「紀伊半島大水害被災地支援の生協の支援の取り組み」が報告されました。また、2012年度方針では、東日本大震災や紀伊半島大水害被災地支援の継続、2012年国際協同組合年の取り組みや県民の健康・予防・医療体制の充実のための医療福祉生協支援、奈良の消費者ネットワーク設立支援の取り組みなど、新たな協同組合運動、協働・連帯の地域づくり等が提案されました。新体制を選ぶ役員選任議案を含め、第1号議案から第6号議案まで一括提案されました。その後、各会員生協から活動報告が行われ、採決の結果、全議案が満場一致で可決承認されました。

2012年度重点課題

- ① 国際協同組合年を内外にアピールし、地域に協同組合の理解をひろげます
- ② 東日本大震災と台風12号災害の復興に向けた継続的な支援活動をバックアップします
- ③ 自立した消費者をふやすため県内消費者団体の交流を促進します。
- ④ 環境、平和、食料農業、食の安全など、会員生協の活動支援のための時宜にかなった学習や情報提供をすすめます。
- ⑤ 奈良県医療福祉生協を10番目の会員として迎え、順調な事業スタートを支援します。
- ⑥ 県内での自然エネルギーをすすめる活動を支援します。

もくじ

| | |
|-----------------------|-----|
| 奈良県生協連通常総会 | 1～4 |
| 奈良県医療福祉生協 | 5 |
| 奈良工業高等専門学校生協におじゃましました | 6 |
| 広がる協同・くらしの輪 | 7 |

| | |
|-------------------|----|
| 被災県ふくしまを継続して応援します | 8 |
| 環境のページ | 9 |
| 奈良から世界へ 17,547 筆 | 10 |

□ 2012 年度新体制

| 役職 | 氏名 | 所属 | 役職 | 氏名 | 所属 |
|------|-------|--------------------|----|-------|-----------------|
| 会長 | 瀧川 潔 | 員外 (市民生活協同組合ならコープ) | 理事 | 立石 昭彦 | 生活クラブ生活協同組合 |
| 副会長 | 辻井 宏育 | 奈良県労働者共済生活協同組合 | 理事 | 仲宗根迪子 | 奈良県医療福祉生活協同組合 |
| 専務理事 | 辻 由子 | 市民生活協同組合ならコープ | 理事 | 中野 素子 | 市民生活協同組合ならコープ |
| 理事 | 粟村 俊夫 | 奈良県立大学生生活協同組合 | 理事 | 長門 裕明 | 大阪樟蔭女子大学生生活協同組合 |
| 理事 | 石間奈穂子 | 奈良工業高等専門学校生活協同組合 | 理事 | 前田 陽一 | 生活協同組合コープ自然派奈良 |
| 理事 | 加藤 由美 | 奈良女子大学生生活協同組合 | 理事 | 森 宏之 | 市民生活協同組合ならコープ |
| 理事 | 崎濱 誠 | 奈良教育大学生生活協同組合 | 監事 | 坂梨 勝利 | 奈良県労働者共済生活協同組合 |
| | | | 監事 | 田村 俊文 | 市民生活協同組合ならコープ |

□ 今年度で退任された方々

永らく奈良県生協連の発展にご尽力いただき
ありがとうございました



奈良女子大学生協 竹内 繁さん
奈良高専生協 桐川 修さん

□ 新たに選出された役員

皆様の一層のご指導ご支援をお願い致します



辻井 宏育さん



石間 奈穂子さん

□ 総会アピール

総会アピールを読み上げる米田春菜さん
(奈良女子大生協)



加藤 由美さん



仲宗根 迪子さん

総会終了後 つどい開催

崎濱理事の司会で、和やかに行われました。最初に瀧川会長から第1回理事会の報告があり、新しく辻井宏育副会長が就任しました。

奈良県消費生活センター所長 中尾昌史様、消費者支援機構関西 袋井邦昭様からご挨拶をいただきました。その後、会員交流として9生協からそれぞれの報告があり、生協間の交流が深まりました。

新任の理事として辻井宏育さん(奈良県労済生協)、石間奈穂子さん(奈良高専生協)、加藤由美さん(奈良女子大生協)、仲宗根迪子さん(奈良県医療福祉生協)が紹介されました。退任される竹内繁さん(奈良女子大生協)、桐川修さん(奈良高専生協)への感謝の思いを込め、花束贈呈がありました。ありがとうございました。



医療福祉生協による健康クイズに答える会場のみなさん

*** 会員生協からの活動報告 ***

奈良県労働者共済生協 中平 章夫さん



大規模な自然災害が多かった年であり、特に東日本大震災については、被災された組合員の生活再建に向けて全労済の総力をあげ最後の一人まで被災者対応を続けます。また、奈良県内でも台風12号などの被害が発生し復旧・生活再建にむけ、私たちにできることを続けてまいります。「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」を展開し、正しい知識・情報・判断を身につけ、住まいの保障を充実させることを目指し推進活動をおこないました。その結果、他の共済が厳しい状況の中、自然災害共済が堅調に推移いたしました。また、創立50周年を迎え「チャリティークルーズ」、「チャリティーミュージカル」「ぼうさいカフェ」等のイベントを開催し、より身近に感じていただける活動をおこないました。

奈良工業高等専門学校生協 大西 悟さん



4月28日と11月9日に「自転車点検」を実施しました。学生のほとんどが自転車通学のため自転車事故は隣り合わせ。その危険を少しでも減らそうという企画です。また12月21日には「食生活相談会」を開催し、体脂肪率の測定や肌の健康状態をチェックしたり、「飲酒ゴーグル」で飲酒状態の体験をしていただきました。そこで学生の運動不足が判明しました。また、毎年好評の「かき氷企画」と「ケーキ喫茶」を放課後の食堂で実施し、多くの学生が来てくれました。年度末から新年度に向け新入生やその保護者のための教科書販売や、学生会と合同の新入生歓迎会を行い新入生が喜んでくださったことで有意義な活動を実感できました。学生生活を楽しんでいただくことを目標として活動していきます。

奈良県立大学生協 岩井 理賀さん



スローガンは「組合員が求める『よりよい』」を追求していきます。「食生活相談会」で野菜摂取不足が分かり、野菜小鉢の品揃えを多く置いてもらいカップラーメンには「野菜が足りていますか」とPOPで呼びかけました。野菜小鉢の売り上げが17.4%アップし、学生の食生活の改善につながったと思います。「デザート総選挙」は組合員の声反映されることを示す事例で、声を反映したデザートの品揃えの改善で36.9%アップしました。ライフステージ分析や環境・平和学習会、ウエルカムパーティ、保護者説明会、交通安全企画、『大和路通信』の発行など生活をよくしていく活動が実を結んできています。店長がいない小規模生協でも連帯によって「支えてもらう」から「一緒に作る関係」になるようにしていきたいと思います。

奈良教育大学生協 奥田 祐樹さん



生協と学生をつなぐ架け橋として活動。20倍集まる「ひとことカード」をめざし、見やすい掲示板、機関紙「KARIN」での呼びかけを行いました。「KARIN」をB7版4ページに変更し、裏表紙を「ひとことカード」にしてレジでも配布できるようにしました。夏祭り、食生活相談会、新入生のための受験宿泊相談会や学生による生協関係の冊子の作成、『親子で納得！大学生生活説明会』も行いました。お料理交流会でひとり暮らしの学生への応援。『さくらハイク』は新入生251名中200名が参加しました。その他「何でも相談会」を実施しました。セミナーや会議に積極的に参加交流し、自分たちの大学に持ち帰ってアレンジして企画し、さらにセミナーでもPRするように努めていきます。

大阪樟蔭女子大学生協 授業と実習のため書面議決出席でした。

奈良の関屋キャンパスと共に大阪の小阪キャンパスも本格的に事業活動が開始されました。関屋の学生委員会では「治道トマト」の体験ツアーに参加し「治道トマト試食会」を実施しました。(総会議案書より)

奈良女子大学生協 藤澤 千里さん



クリスマスパーティでは夕食営業のPRを行い、メニューなど職員さんたちと学生委員がともに作る活動をしました。新入生歓迎冊子を作成、2～3月には受験生応援活動。宿泊するホテルにも出向き受験生の不安を取り除けるようにアドバイス。入学式前日の「エントランスイブ」や「受講相談会」また、今年初の「ビジョンナビセミナー」では大学生活と高校生活の違いや将来の事、先輩の経験談など新入生の不安を取り除き目標を持ってもらうような企画を実施しました。今年度の目標は「♡(愛)の発信源」。通常2回生は夏に引退しますが1年延長し失敗を繰り返さないように引き継ぎ、後輩との距離を縮めていきたいと思います。付属高校の食堂とも交流し改善していきたいと思います。奈良教育大や奈良県立大と共に交流する「奈良セミナー」を予定しています。

コープ自然派奈良 前川 雅代さん



産直「大和ひみこ米」の取り組みは3年目になり、田植え、生き物調査、稲刈り、田んぼの運動会などを実施。里芋オーナー、さつまいも・じゃが芋・玉葱植付収穫の食農体験も行いました。地域に有機農業を拡げる取組み、脱原発活動、産地交流、パパクッキングや麵・みその食育活動、子育ての連続ワークショップを行った「たすけあい」など様々な企画を実施しました。学校給食の取組みではシンポジウムと試食会を開催。地域ごとに懇談会を開催し、関係者と安心安全な学校給食を検討しています。遺伝子組み換え問題などにも取組みました。その他チーム活動や地区活動で多様な取組みがされています。「みらいを作る出会いフェスタ」では、子育て中の多くの方にも参加していただきました。

生活クラブ生協 ステパンズック貞子さん



5月と12月の朝市では、生産者の放射能汚染のアンケート結果をパネル展示したり、農園サークルが作った蕎麦を使ったそばや市場直送の鮮魚販売などを行い、合計96家族が参加しました。台風12号被災地支援として支援物資と生活クラブ山形からの義援金と奈良の見舞金を五條市災害支援本部大塔支所に届けました。脱原発実行委員会が発足し情報収集・発信、脱原発の署名活動を行いました。産直集会では講演会を開催。農業を守るために生産者と生活者が協働で参加型農業に切り替える必要があることを学びました。

ならコープ 鍵谷 邦子さん



組合員が生協に触れる場として「組合員のつどい」を開催。食育を伝える「たべるたいせつフェア」は4会場で開催。地域の要望に沿って工場見学や学習会など自主的な活動がならコープネットによってすすめられました。東日本大震災支援活動として「目的別募金」により放射線線量計や見守り用の車など送り、さらに商品代金の1/1000を支援にあて移動販売車の寄贈などさまざまな支援を行いました。台風12号被災地支援をきっかけに県内自治体との「災害時物資供給協定」を23自治体と結びました。またアースデー、原発事故の学習会、吉野共生プロジェクトなどに取り組みました。放射性物質検査機器を購入し食の安全対応をしています。障がい者社会参画支援の「ハートフルコープなら」を設立。夕食宅配事業のリニューアルも行いました。行政と連携した高齢者見守り協定は13市町村に広がりました。協同組合の精神ですすめていきます。

奈良県医療福祉生協 木下 厚子さん



2年前から準備、昨年7月に発起人会を立ち上げ、今年3月31日に設立総会、5月31日に認可、6月6日に設立しました。現在、組合員数1600人、出資金は約2560万円です。診療所はならコープのコープみみなしの敷地内。8月の「みみなし診療所」開設に向け、開設委員会を立ち上げ地域の組合員を増やすため2回一斉訪問や「健康チェック」「健康体操」「健康クイズ」など出前学習会を行い組合への加入、出資金の呼びかけをしています。7月8日は地域一斉訪問を行います。是非お力をお貸しください。

おたのしみカフェ



医療生協のことを知ってもらおうとホワイトハウスで毎週1回お茶を飲みながらおしゃべりできる「おたのしみカフェ」を開催しています。組合員ボランティア手作りのスイーツやコーヒーは無料。訪れる人は、生協のこと、健康や病気の話に花を咲かせてついつい長居する人もいるそうです。お気軽に立ち寄ってくださいとのこと。

みみなし診療所



4月に設置された現地仮設事務所、通称「ホワイトハウス」。ここを拠点に診療所の準備をすすめてきました。組合員のたまり場にもなっています。

ホワイトハウス



完成間近のみみなし診療所。ベテランの消化器内科医を中心に、安心できる医療サービスの提供を目指します。胃カメラや大腸ファイバー実施を予定しています。また予防接種は組合員優待価格になります。

奈良県医療福祉生協は5月31日県の認可を受け6月6日登記を終え正式に発足しました。みみなし診療所のオープンにむけて奮闘する組合員と役職員の皆さんの活動をご紹介します。

地域での健康づくりと 患者本位の医療をめざし
 いよいよ診療所がオープン！
奈良県医療福祉生協

仲間ふやし活動



地域訪問で仲間ふやし（6月23日）

■最新報告&□今後の予定

- 5月31日 県の認可
- 6月6日 登記申請、12日完了
- 加入者 1,650名(6月26日)
- 出資金 2,600万円・
- おたのしみカフェ 毎週水または木
7月11日、19日、26日
- 7月8日 地域一斉訪問
- 7月26日、27日、28日 内覧会
- 7月29日 開所式
- 8月1日 開業予定

みんなで作る診療所

診療所開設委員会

委員長の木下厚子さん
にききました！



「みみなし診療所開設委員をして」

奈良県医療福祉生協の創立総会を機に発起人会運営会議から、診療所開設委員会を設置し、新たに診療所所長・組合員・医療コンサルタントを加え、知恵と力をあわせて取り組んでいます。診療所の名称をはじめ間取りや医療器材、備品類などの選定。さらに仲間ふやし・出資金ふやし・利用者ふやしを中心に活動しています。

今、一番の課題は診療所地域の組合員ふやしです。最初はあまりにも低い加入に驚きは隠せませんでした。まずは知らせること。チラシまき・地域訪問・お店での健康チェック・ニュース作り・おたのしみカフェと、いろんな場面で知ってもらいながら加入につなげていっています。何度も足を運びながら、また呼びかけながら少しずつではありますが、地域に浸透していているのではないかと考えています。メンバー・サポーターの活動には感謝の一言で頭が下がります。開設委員会を4月立ち上げ8月開所という、短期間という本当に厳しい中ではありますが、多くの方の協力を得て開設委員会一丸となって頑張っています。応援よろしくをお願いします。

奈良工業高等専門学校生協におじゃましました

自転車の無料点検 通学の安全を願って



受付で、自転車を引渡し手続き

大学生協では、学生の安全な通学を願い、共済加入の重要性の視点からも「自転車・バイクの無料点検」を生協活動に位置づけ、学生委員がサポートしています。そこで、2012年5月10日(木)に奈良工業高等専門学校生協の「自転車無料点検」の取材に行ってきました。

会場は校内の駐車場の一角。例年春と秋に呼びかけ、点検を行っています。今日が今年度の1回目。

1週間ほど前からポスターなどで呼びかけ、昼休みに自転車が50台ほど集まりました。午後3時には、点検を終わった自転車が持ち主を待つばかりでした。



持ち主を待つ点検済みの自転車



受付の時点でどこを点検してほしいのかカードに書いておきます。「ブレーキ」と書かれているカードを多く目にしました

点検修理をしてくださる関西商事の北尾重義さんにお聞きしました。



修理・点検する北尾さん

京都事業連合で一括して自転車の仕入れをしていますが、10年位前から自転車事故を防ぐためにも、点検修理で関西一円の大学生協をまわっているそうです。奈良では、奈良教育大、奈良女子大へも。ブレーキが緩い人が多いとのこと。ワイヤーが伸びてきているもの、

変速があわないもの、*リムが曲がっているものなど、それぞれじっくり見て点検・修理されていました。最近は自転車も安くなり乗りっ放しが多いと感じておられるそうです。

*リムはハブとスポークで結合して車輪の骨格を作る部品でスポーク穴およびバルブ穴が開いている。外側にチューブおよびタイヤが付く。



修理のための工具一式



左から学生同好会の会長大西悟さん(2年生)と副会長の久保基さん(2年生)

奈良高専には5学年1100人の学生が在籍し、ほとんどが自転車通学。もっと点検を呼びかけていきたいとのことでした。奈良では急な坂や曲がった道も多いので、ヒヤリとした事も多いはず。大学生協での共済の給付も自転車関係が多いと聞きます。今は知る人も少なくなりましたが、2000年5月に奈良高専の18歳の学生がバイクで登校途中、亡くなる痛ましい事故があり長く苦しい裁判が続いたそうです。また最近では被害者としてだけでなく加害者になって賠償責任を負うことも増えているそうです。共済加入のことも含め、生協の取り組みは、社会人になる前の学生を送り出す大学生協ならではの大きな役割を担っていると感じました。

自転車置き場に学年ごとにすらりと並ぶ自転車



見違えるほど自転車が修理でき、ありがたいです!

修理してもらった5年生 泉谷翼娑(つばさ)さん(右)、佐伯太輔さん(左)

広がる協同・くらしの輪

いまこそ吉野共生・ならの元気は吉野から！

「アースデー2012 inなら」が開催されました。

今年は奈良県文化会館前広場と小ホールで開催され、小ホールでは「いまこそ吉野共生・ならの元気は吉野から！」と題し、台風12号災害を受けた五條市長太田氏、十津川村長更谷氏、野迫川村長角谷氏、奈良県地域振興部中井室長、ならコープ森理事長と、ならコープ中野副理事長のコーディネートでリレートークが行われました。生々しい被災状況と復旧状況の報告があり、中井室長からは県・国の復旧支援活動、森理事長からは復旧支援とこれからの吉野共生プロジェクトの取り組みについて報告がありました。文化会館前広場には、吉野地域の市町村による物産の即売などが行われ、奈良県生協連のブースでは奈良県医療福祉生協による健康チェックなどが行われ小雨にもかかわらず、約2,600名が参加されました。

また、県庁前ではコープ自然派奈良による「フェスタ」が多くの参加者でにぎわっていました。



第31回つながり祭が開催されました。

「つながり祭」が、5月20日に田原本町の「県営福祉パーク」で開催されました。

1981年の「国際障害者年」から始まった奈良の「つながり祭」は、多くの人に支えられて、今年で31回を迎えました。

生協からは、ならコープの理事さんや田原本支所の職員が、ブース出展しました。今年は産直トマトの確保が難しく、果物や飲み物などの販売を行いました。生協活動のアピールを行うと共に、参加者との交流を深めました。



消費者ネットワークづくりがスタートしました

消費者被害のない町づくりと自立した消費者を増やす取り組みを、消費者、行政、専門家が連携して行う消費者ネットワークの結成準備が奈良県でスタートしました。奈良県生協連などが呼びかけて2008年設立した「奈良の消費者行政を考える会」の活動をベースに、「消費者行政」「消費者教育」「被害未然防止」「消費者政策提言」などをテーマに意見交換と連携を図っていきます。5月16日にスタートした準備会議には弁護士、相談員、地婦連などの考える会世話人のほか、成年後見センター・リーガルサポート奈良支部、奈良県社会福祉士会、グループあんあん、グループざひめみこ、ならコープ、コープ自然派奈良の代表や個人が参加、県行政からも3名のオブザーバー参加があり、これから目指すものについて活発な討議が行われました。ネットワークは2012年度内に発足を目指して、この問題に関心のある個人や団体に広く参加を呼びかけていく予定です。



福島の現実について語る熊谷さん

～奈良のわたしたちにできること～

被災県ふくしまを継続して応援します

福島県生協連・会員生協・関西の生協・諸団体とともに

東日本大震災と原発事故から一年数か月が経過した今も福島県は一向に復興の先が見えない深刻な状況です。震災被災地支援が今年度も重点の課題ですが、なかでも福島を応援するために福島県生協連と関係性を強め、被災地を思い寄り添いながら奈良の地でできる取り組みをすすめます。

「福島の生協から報告」 福島県生協連会長 熊谷純一さんが講演会 5月ならまちセンター

5月27日福島県生協連の熊谷純一会長を招き原発事故後の福島県の状況についての講演会が開催されました。8月に開催する「福島子ども保養プロジェクト in かんさい」の事前学習会とも位置付けて、ならコープ主催、奈良県生協連が共催で行いました。会場には生協組合員と役職員58人が参加、福島の置かれている今なお厳しい現状のお話に熱心に耳を傾けました。

熊谷会長は、原発事故の状況や放射性物質による汚染で地域が引き裂かれた現状などを映像を使って説明されました。情報が適切に伝えられなかった当時の現状や、がれきの処理と除染、農地・食品の汚染と風評被害、子どもたちの生活など、山積する問題について詳しく語られました。避難した人と残った人との感情的なズレ、世代間の感覚の違い、「生産者と消費者」「除染や補償を巡る住民同士」「原発立地自治体と他自治体の住民間」などに、深く複雑なしこりを残しており、福島の苦悩は決して収束していない、また、食の安全対策はまだ不十分であり、汚染マップの作成や移行率調査、出荷前検査、消費地での検査、消費者の持ち込み検査など体制の充実などを提言されました。チェルノブイリを視察し現地では26年前の原発事故がまだ終わる見通しがなく、福島の事故は、世界が経験をしたことがなく、あと100年かかるのではないかと感想を持たれ、地震国日本での原発の危険性と原発廃炉などを訴えられました。

夏休み福島子ども保養プロジェクト in かんさい 7月31日から8月4日まで しが・なら・おおさか

子ども保養プロジェクトは、被ばく積算量を心配する保護者の気持ちに応えるために子どもの週末保養をするという福島県連の取組みで、全国の生協が企画の実施に参加しています。

関西ではコープしが、大阪府生協連、ならコープ、奈良県生協連で実行委員会をつくり、50人の子どもたちに関西ですごしてもらいます。このプロジェクトには近畿ろうきんの共催を得た他、多数の協力団体、協力者によるボランティアが参加し、福島支援の心の輪が広がっています。奈良では野外活動や金魚すくい、奈良公園散策を予定しています。実施にあたっては子どもたちの安全の確保とともに、被災地の事情をよく知るための福島県生協連との懇談や現地保護者説明会を行うなどの準備をすすめています。



滋賀、奈良、大阪のメンバー、近畿ろうきんによる実行委員会の打合せ会議

ご協力ください

安心して住める「福島」を取り戻すための署名

国に対する要請署名を福島県生協連の呼びかけに応え奈良県生協連と会員生協で取り組んでいます。

【要請項目】①東京電力福島第一原発の事故を早く収束させ、第一、第二原発ともに廃炉にすること②全県民の内部被ばくへの検査と無料健診を行うこと③食品の検査体制の充実を図り、食の安全を守ること④正確な汚染状況を調査し、正しい情報公開を行うとともに除染を進めること⑤原発事故により被ったすべての損害を補償すること。以上の問題を二度と起こさないために脱原発を進めること。

環境のページ

どうなる？日本のエネルギー政策

世界では？



■リオ+20「国連持続可能な開発会議」

「国連持続可能な開発会議」(リオ+20)が2012年6月20～22日に開催されました。リオサミットから20年。「リオ+20」には130か国の国家元首や首脳が参加し、成果文書が国際社会の合意を定める政治宣言として採択されました。しかし環境と経済を両立させる「グリーン経済」実現の条件や貧困削減の新指標となる「持続可能な開発目標」の適用を巡り途上国・中国グループと日米など先進国の対立から実質的な議論を避けた内容になりました。



■気候変動枠組条約締約国会議 (COP18)

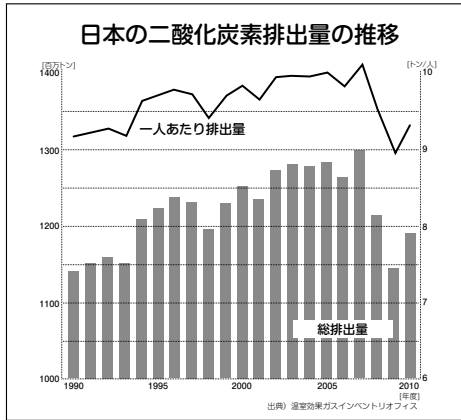
年末にカタールのドーハで開催されるCOP18の事前会合でも先進国と新興国との意見は大きく隔たりがあります。COP17(ダーバン)では次期枠組みの2020年発効に向けその内容を2015年までに決めることで合意しました。しかし、中国とインドは経済成長を阻害するとして排出削減義務には慎重です。一方で京都議定書の第1約束期間が2012年末に切れますがそのあとの第2約束期間をどうするのかも先進国への批判となっています。アメリカは京都議定書には批准せず、日本も第2約束期間には参加しないと表明済みです。世界経済が減速する中、実際に削減義務を負う国・地域が減り会議の形骸化が心配されています。

日本では？



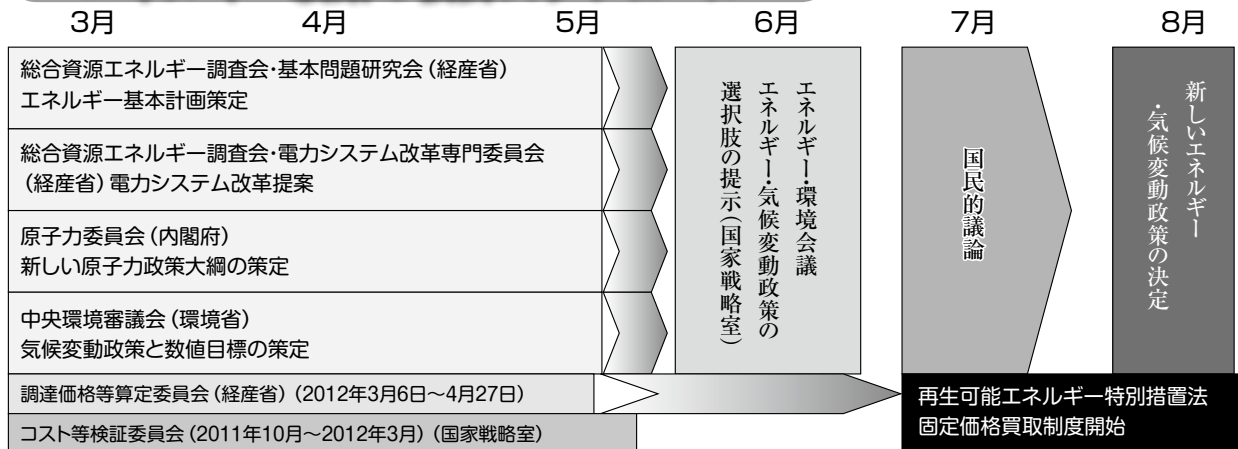
昨年3月の福島第一原発事故後、2030年までを見越した新たなエネルギー政策作りが進められています。政府内には様々な場所(下図参照)で議論されていますがそれらを取りまとめ、「エネルギー・環境戦略の選択肢」を決め、国民的議論を通じて8月には最終決定する方針です。

日本の二酸化炭素の排出量は経済の停滞から2009年は減りましたが2011年原子力発電所の事故から稼働できず、排出量は増加すると予測されます。原子力に依存しない抜本的な温暖化対策が求められています。



全国地球温暖化防止活動推進センター Web サイトより

エネルギー政策の検討スケジュール



主な論点

- ①原子力依存をどの程度まで下げるのか? ②エネルギーのあり方をどう選択するのか?
③温室効果ガス削減目標は? ④国民負担と経済影響 ⑤国民の声をどのように反映?

2030年の原発比率の選択肢

| | |
|---------------|--------|
| 早期にゼロ | 0% |
| 原発依存を低減 | 15% |
| 原発依存度低減一定程度維持 | 20～25% |

生協では？

電力不足の不安や原発依存の低減から、自家発電や太陽光発電設備の導入が検討されています。7月1日施行の再生可能エネルギー固定価格買取制度を見越した企業や行政のメガソーラーが各地で計画されています。

茨城県生協連ではJAと生協が「JA・COOP 再生可能エネルギー活用研究会」を立ち上げたと報道発表がありました。

奈良では2011年度末に市民共同発電を進める「サークルおてんとさん」、ならコープ、奈良県生協連、奈良県温暖化防止活動推進センターの有志で「なら自然エネルギー研究会」を立ち上げ、市民出資の枠組みのあり方について勉強会を重ねています。その一環で飯田市の「おひさま進歩エネルギー（株）」を調査訪問。また、5月にはひがしおうみコミュニティビジネス推進協議会の橋本憲氏を講師に「地域に最後に残されたエネルギー資源と経済の地域循環の仕組みづくり」をテーマに県や市環境行政担当者や市民NPOにも呼びかけ、勉強会を開催しました。



飯田市民市民出資の発電所
(公民館の屋根に設置)



ならコープでは田原本町の物流センターに400kWの太陽光発電システムの設置工事に着手されています。



「地域に最後に残されたエネルギー資源と経済の地域循環の仕組みづくり」勉強会 2012年5月15日
於：奈良市はぐくみセンター



奈良から世界へ17547筆

「核兵器禁止条約の早期実現を求める署名」 松井一實広島市長平和市長会議に託しました

奈良県生協連と会員生協、「ピースアクションをすすめる会」で取り組んだ「核兵器禁止条約の早期実現を求める署名」は3月末で17,547筆になりました。4月4日、4名の代表一行が広島市庁を訪れ、平和市長会議会長である松井一實広島市長に署名目録を手渡し、国連と各国行政府に届けるよう託しました。松井市長は感謝の意を表し「世界平和と核兵器廃絶の実現には市民一人一人の強い思いが大切で、それを形にした署名は大きな力。平和への思いを世界中の為政者たちにしっかりと伝える。これは広島の責務でもある」と述べられました。



広島市長室にて：右から松井広島市長、辻専務、大川ならコープ理事、辰巳コープ自然派理事長、新田事務局長

今回の署名は奈良県からの署名を合わせ47万筆を超え、松井市長はこれを5月ウイーンで開催されたNPT再検討会議第1回準備委員会に持参し国連に日本の市民の声を届けました。

4月4日、松井市長に託しました。

「核兵器禁止条約」の早期実現を求める署名

17547筆

奈良県生活協同組合連合会

広島訪問では広島県生協連の岡村専務理事と広島平和文化センターのステイブン・リーパー理事長、湯浅常務等とも懇談し、平和をめぐる国際情勢や平和市長会議の活動などについて情報をいただくことができました。また原爆死没者追悼平和祈念館を訪れ、原爆の悲惨を改めて胸に刻みました。

県連日誌

4月

- 4日 核兵器禁止条約早期締結を
求める署名の広島市長への
贈呈
- 5日 日本生協連総会議案検討会
- 11日 関西地連運営委員会
- 21日 つながり祭実行委員会
- 24日 福島県連・コープふくしま
25日 訪問
- 27日 県安全安心すまいづくり協議会

5月

- 9日 県連監事監査
- 10日 子ども保養P J会場打ち合わせ
- 16日 第1回奈良の消費者ネット
ワーク準備会議
- 17日 奈良高専生協総会
- 18日 第1回生協・行政協議会
- 18日 奈良県生協連第7回理事会
- 20日 つながり祭
- 22日 奈良県立大生協総代会
- 24日 奈良教育大生協総代会
- 25日 ピースアクションをすすめる会
- 25日 奈良女子大生協総代会
- 25日 大阪樟蔭女子大生協総会
- 27日 福島の子ども保養P J in関西
学習会（熊谷福島県連会長）

6月

- 5日 あたらしい公共の場づくり
モデル事業会議体会議
- 8日 ならコープ総代会
- 11日 生活クラブ生協総代会
- 15日 日本生協連第62回通常総会
- 16日 奈良県生協連第23期総会
- 22日 コープ自然派奈良総代会
- 23日 奈良県農業協同組合総代会
- 26日 第2回奈良の消費者ネット
ワーク準備会議
- 29日 大学生協部会
- 30日 KC's 総会

奈良県生協連 2011 年度 第 7 回理事会報告

【主な審議事項】

- (1) 2011年度決算関係書類承認及び借入金最高限度額に関する件
- (2) 第23期県連総会議案確定及び第23期県連総会の準備等に関する件（第3次）
- (3) 2012年度次期体制への申し送り事項に関する件
- (4) 国際協同組合同年 奈良県協同組合デーのつどいに関する件
- (5) 奈良県医療福祉生協の奈良県生協連への加入承認の件
- (6) その他事項の件
 - ①奈良県生協連の災害支援活動のすすめ方について
 - ②福島の子ども保養プロジェクトの取り組み
 - ③奈良県医療福祉生協設立のこの間の取り組みと今後の支援について

奈良県生協連 2012 年度 第 1 回理事会報告

【主な審議事項】

- (1) 理事会の構成に関する件
- (2) 代表理事選任の件

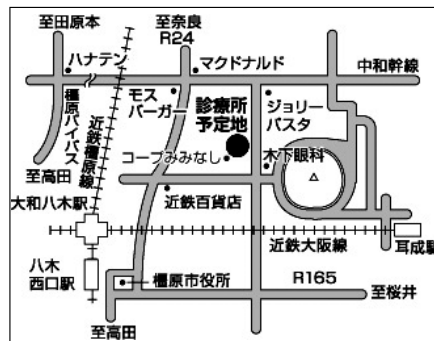
奈良県医療福祉生協 みみなし診療所内覧会のご案内

医療福祉生協の診療所・みみなし診療所がいよいよ8月1日にオープンします。
これに先がけて、下記のように内覧会が開催されます。

日 時 7月26日（木）、27日（金）、28日（土）
午前10時～午後5時

特 典 素敵なコープ商品のプレゼントがあります。
ならコープ、コープ自然派奈良、生活クラブ生協の
素敵なコープ商品のセットがプレゼントされます。

お問い合わせ先：奈良県医療福祉生活協同組合
橿原市木原町 230-1 ☎ 0744-23-5722



奈良県生活協同組合連合会 〒630-8136 奈良市恋の窪1丁目2-2
TEL 0742-34-3535 FAX 0742-34-0043
URL <http://www.narakenren.coop/>